

おしえて!!

じょう

ほ場整備

～ほ場整備事業の効果や効用をご説明します～



令和3年度小中学生による「美しく豊かなおらづくり」
絵画コンクール 中学校の部 金賞受賞作品

令和4年9月

岩手県農林水産部農村建設課

より良い暮らし



困っていませんか？こんなこと。

1

水引き・水管理がゆるぐね

〔 田んぼの水を確保したり、水の量を何回も確認するのが大変 〕

2

**ちっちえ田、みちもせめえ
でっけえ機械つかえねじゃ**

〔 田んぼが小さくて耕作道も狭い、大きい機械が使えない 〕

3

ぬがってわがね、転作できねじゃ

〔 田んぼがぬかるんで、麦や大豆を作付けできない 〕

4

**おらほのあだいの人だぢ、もっと
元気にしてえなあ**

〔 地域をもっと明るく元気にしたい 〕

5

おらほの孫さのごしてえなあこの環境

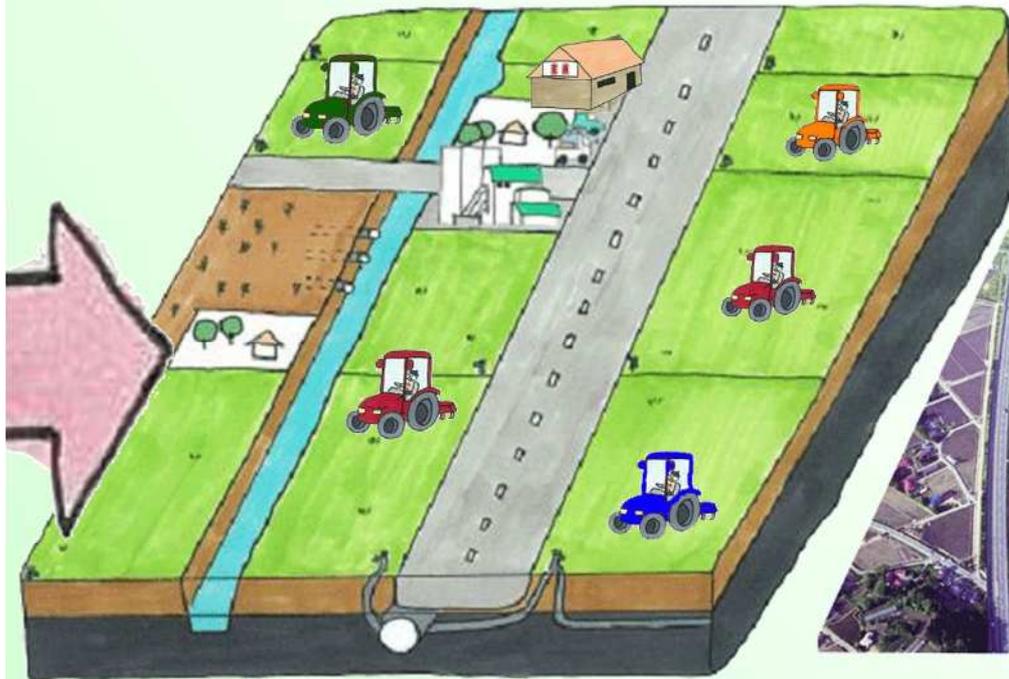
〔 我が家の孫たちにもこのすばらしい農村環境を残したい 〕

6

もっといい地域にしてえなあ

〔 道路や堤防などが整備された安心で安全な地域にしたい 〕

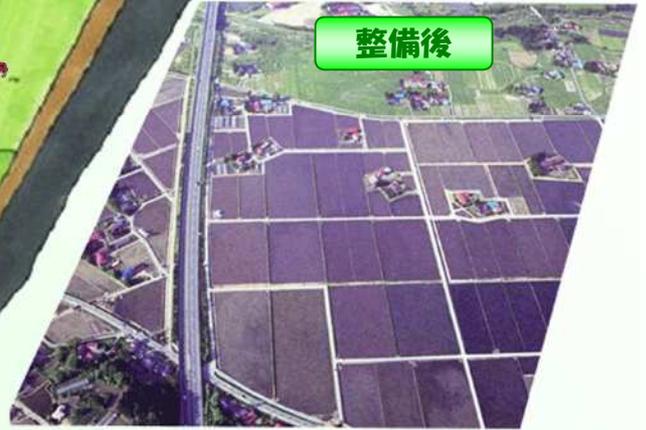
のために整備を。



へえ〜、
そうなんだ！



整備後



ほ場整備でこうなります！

もくじ



1

用水の確保・水管理がラックラク . . . 3ページ

2

農作業の効率がアッフ . . . 3ページ

3

水田をラックラク転作 . . . 4ページ

4

地域の皆さんも元気ハツラツ . . . 4ページ

5

環境への配慮もバッチシ . . . 5ページ

6

公共施設用地をみんなでダシダシ . . . 6ページ



1 用水の確保・水管理がラクラク

給水栓をクルクル回せば水が出る！

ほ場整備が終わって5年が経過した地区の農家の方にアンケートを行い、ほ場整備をして良かった点を回答していただきました。詳しくは、6ページを見てね。

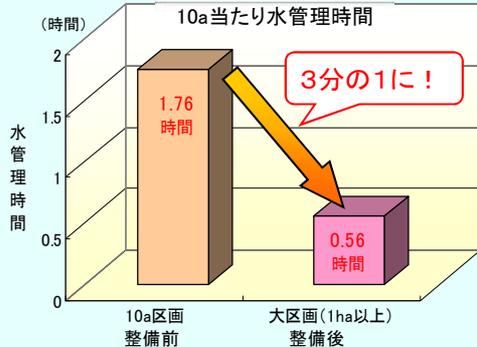


整備前に比べて水管理が楽になって、10a当たりの水管理時間が3分の1になったよ。

〔アンケート結果〕（複数回答）

1位 「パイプラインになり、水管理が楽になった」

4位 「パイプラインになり、いつでも水を引けるようになった」



これが給水栓だよ



パイプラインって、水道みたいだじゃー！



10a(7アール)区画とは、1,000㎡(標準50m×20m)の小さい田んぼのこと。1ha(ヘクタール)区画とは、10,000㎡(標準125m×80m)の大きい田んぼのこと。



2 農作業の効率がアッフ

な〜るほど！

2-1 大型機械による作業が可能に。作業効率が格段に向上！

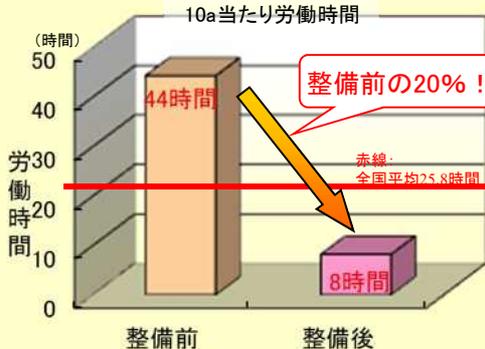


整備前に比べて農作業の効率が良くなって、10a当たりの労働時間が20%になったよ。

〔アンケート結果〕（複数回答）

2位 「田んぼが大きくなり、機械作業が効率的になった」

6位 「田んぼの形が良くなり、機械作業が効率的になった」



大きい機械が使えるようになって農作業の効率がUPLしたよ！！

2-2 農地の団地化、農道の整備で通作が楽に。



バラバラだった農地が整備によってまとまり、農作業の効率がアッフ！
具体的なイメージは以下のとおりだよ。

〔アンケート結果〕（複数回答）

3位 「田んぼに通うのが楽になった」

9位 「救急車や消防車も通行しやすくなった」



【整備前(3.8ヶ所/人)】



【整備後(1.6ヶ所/人)】

(農村建設課業務資料)

3 水田をラクラク転作

3-1 暗渠・排水路の整備により排水がスムーズに。雨水も流れやすく。

【整備されていない湿田】

排水不良 「高い地下水位」

【アンケートの結果】（複数回答）

5位 「田んぼの水はけが良くなった」

8位 「雨水が流れやすくなった」

【整備された汎用化水田】

排水能力の強化 適切な地下水位管理

モミガラ 600mm
φ50mm、60m長さ管
100m程度

雨水も流れやすく！

適切な地下水位により、水はけが良くなり、作物が元気に育つ！

3-2 機械作業が楽に。麦、大豆等の作付けが可能に。

ぬかるんで転作が難しいな...

乾いて転作しやすくなったよ。

大型機械による小麦の収穫作業

大豆を作付けても湿害が...

大豆の生育も、ほら、このとおり！

わあ、整備後では全然違うのね。

4 地域の皆さんも元気ハツラツ

4-1 地域が一丸となった活力ある取組を紹介します。

上小田代ぶどう沢地区（奥州市江刺） ほ場整備：20.2ha 工期：H25～R3

- 山間地であり経営面積を大幅に拡大できないため、きゅうりや加工用トマトなどの高収益作物を導入するとともに、加工用トマトを利用した、トマトピューレ、トマト味噌ラーメン等を開発して販売を行い、地区全体の農業生産額の拡大を実現
- 令和2年度農業農村整備優良地区コンクールで「**農林水産大臣賞**」を受賞



生産したトマトを活用し開発したトマトピューレ

宇部川地区（久慈市・野田村） ほ場整備：80.3ha 工期：H25～R2

- 水田に直接種をまく栽培方法により生産コストを低減。久慈地域特産短角牛へ給餌する粃殻サイレージ製造、販売により耕畜連携を推進
- ミニトマトの養液栽培に取り組み、集落内外の女性・高齢者の雇用や農福連携を実施
- 令和3年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰「**東北農政局長賞**」を受賞。



ミニトマトの養液栽培

小友地区（陸前高田市） ほ場整備：90.3ha 工期：H24～H28

- 高収益作物であるたまねぎの導入と栽培技術の研鑽により単収が向上
- 地域の稲田の風景を謳った「千町田（ちまちだ）」をパッケージに利用した生産米を販売し、「小友の良さ」や「小友の米」の魅力を発信
- 令和2年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰「**東北農政局長賞**」を受賞



独自のパッケージで魅力発信

みんないきいきした活動をしているね！

4-2 ほ場の整備を通じて、地域農業の担い手育成を支援します。

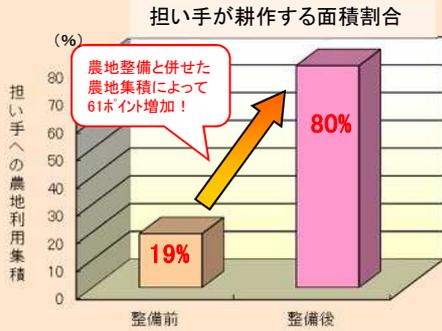


地域の皆さんが担い手※1を育成した結果、新たに130の農業を経営する法人と46の農作業を受託する団体が誕生したよ。※2

育てられた担い手は整備済の田んぼをたくさん耕作しているんだね。



※1: 担い手とは、地域の農業の将来を担っていく人のこと
 ※2: 2021年度末時点における実績



【農村建設課業務資料】



地域農業の中核となる担い手
 (一関市・アグリパーク舞川の皆さん)



担い手を中心に、地域の将来を熱心に話し合う

5

環境への配慮もバッチシ

“生きもの”や“景観”に配慮した取組をご紹介します。



○ゼニタナゴの保護(花巻市)



新しいすみかが出来るまでの間、お引越し！



ゼニタナゴ



整備前と同じような魚のすみかを作ったよ！

○メダカの保護(一関市)



あっ！メダカがいたよ！



メダカ



メダカが生活する用水路と田んぼをつなぐ水路を作ったよ

生きものにもやさしい整備をしているんだね。



○観光地・カッパ淵への配慮(遠野市)



水と一緒に土砂も下流(カッパ淵)に流れてしまう...



水門をつけて、洪水時に土砂がカッパ淵に流れないようにしたよ。



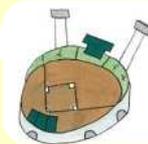
6

公共施設用地をみんなでダシダシ



地域の合意によって農地をみんなで少しずつ出し合い、公共施設の建設用地を生み出します。

平成24年から令和3年までの過去10年間で、岩手県営野球場117個分に当たる159haの用地を生み出し、道路、堤防及びライスセンター等の建設用地として提供しているよ。



×117
へえ～
どうなんだ！



道路用地(奥州市)



堤防用地(一関市)



ライスセンター用地(奥州市)

参考1



アンケートの概要は？



平成22～令和3年度に実施したアンケートの概要は以下のとおりだよ。

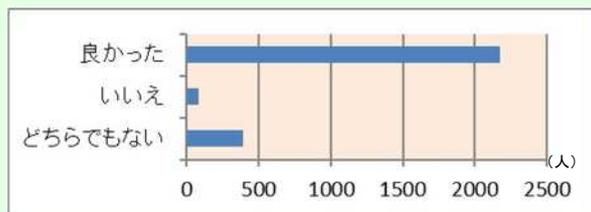
■目的 ほ場整備事業が完了し、5年経過した地区における営農状況や効果の発現状況の把握

■対象者 3,583人 (30地区・3,781ha)

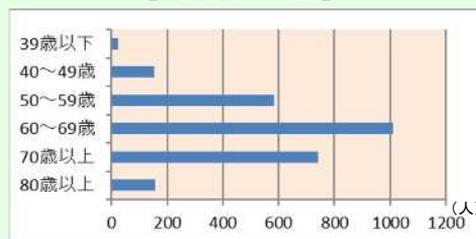
■回答率 76% (2,723/3,583人)

■主な回答結果 (未回答を除く)

① ほ場整備事業を実施して良かったですか？

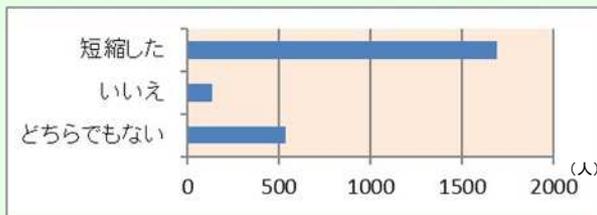


【回答者の年齢】



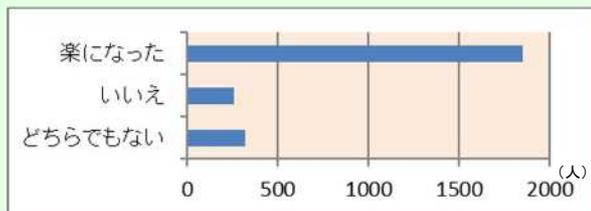
- 『良かった』と回答した方は2,172人(82%)
- その理由は、以下のとおり。
1位 「パイプラインになり、水管理が楽になった」
2位 「田んぼが大きくなり、機械作業が効率的になった」
3位 「道路が広くなり田に行くのが楽になった」

② ほ場整備事業によって、営農時間が短縮しましたか？



- 『短縮した』と回答した方は1,692人(72%)
- 一方、『いいえ』と回答した方は137人(6%)
- その理由は、以下のとおり。
「田んぼの排水が悪く作業がしにくい」
「組田※で個別営農がしにくい」 など
※ 何人かで1枚の田を共有すること

③ ほ場整備事業によって、用水路、排水路の維持管理が楽になりましたか？



- 『楽になった』と回答した方は1,849人(76%)
- 一方、『いいえ』と回答した方は257人(11%)
- その理由は、以下のとおり。
「法面が長く草刈が大変」
「石が多く草刈に苦労している」 など

御意見については、今後の事業推進のための参考にさせていただき、よりきめ細かいほ場の整備をしていきます

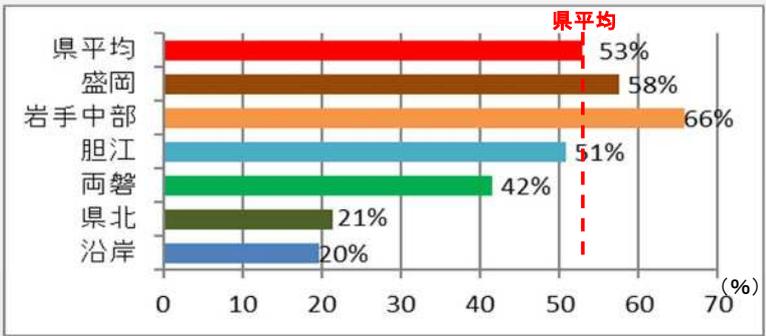
参考2 水田の整備状況は？



令和元年度末における岩手県の水田整備率※は、53%となっているよ。
各地域の整備率は下のグラフのとおり、盛岡・岩手中部地域は整備が進んでいるけど、それ以外の地域は整備が遅れているね。
また、各市町村の整備率は右の岩手県地図のとおりだよ。

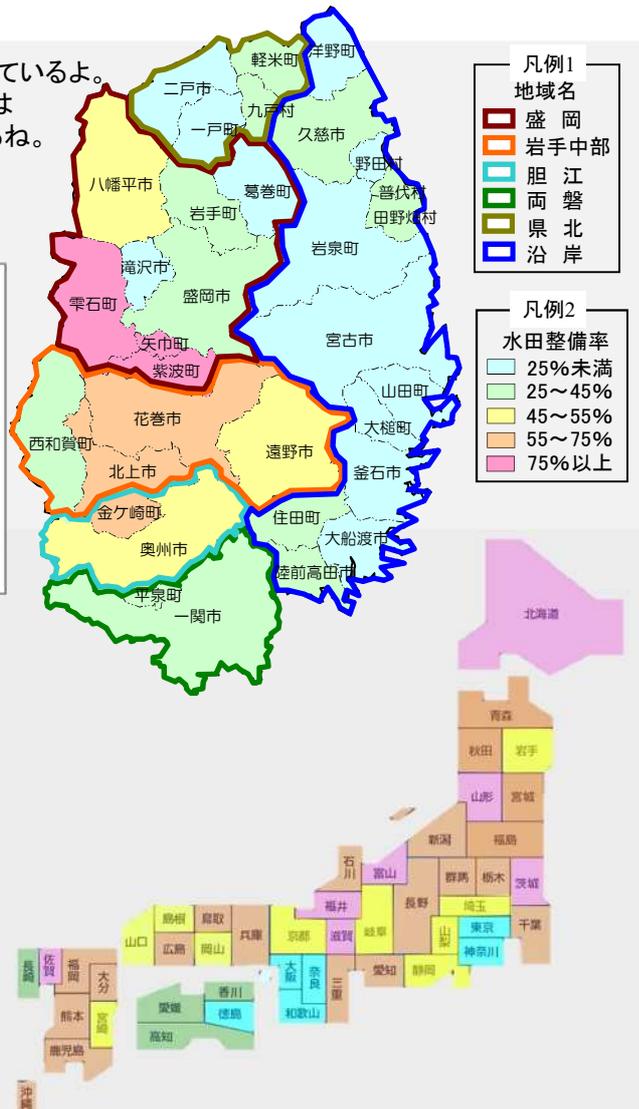
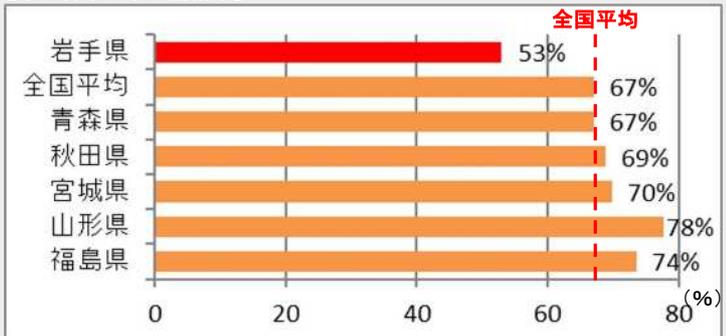
※ 30a程度以上の区画に整備された水田の割合

【県内の地域ごとの水田整備率】



令和元年度末に農林水産省が行った全国調査によると、岩手県の水田整備率は東北では最下位、全国平均も大きく下回っているよ。
詳しくは下のグラフと右の全国地図を見てね。

【東北各県の水田整備率】



参考3 担い手の耕作状況は？



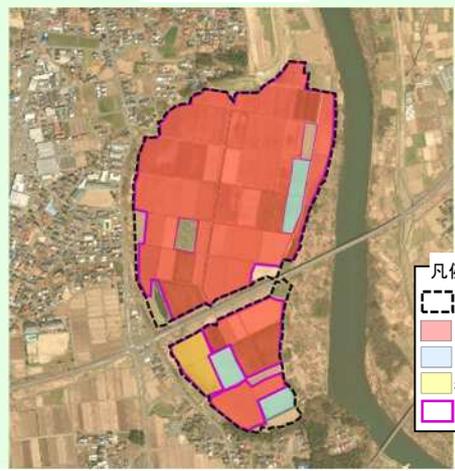
担い手の耕作状況について、過去5年間に完了した14地区で調査したところ、整備済の面積のうち、86%の農地は担い手が耕作していたよ。
また、このうち85%が、『面的に連なる農地※』で、さらに効率的な営農が展開されているんだね。

※ 1ha以上の面積がまとまった農地



【農村建設課営農状況調査資料】

完了地区の事例



【お問い合わせ先】
岩手県盛岡市内丸10-1
岩手県農林水産部農村建設課(農地整備担当)
TEL019-629-5683~5685